

伊那市地域公共交通会議
伊那市地域公共交通協議会 委員各位

伊那市地域公共交通会議
伊那市地域公共交通協議会
会長（伊那市企画部長）飯島 智

令和7年度 伊那市地域公共交通会議及び伊那市地域公共交通協議会
書面協議結果について（通知）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、地域公共交通政策に格別なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年12月12日付け7伊地交協第7号により実施しました、伊那市地域公共交通確保維持改善事業の事業評価に係る書面協議につきましては、次のとおり承認されましたので報告いたします。

記

1 協議結果

承認する 19名（会長を除く。）
承認しない 0名

2 事業評価に対する意見と回答

意見	内容	回答
⑤長谷線の運行見直しについて	利用実態に即した運行見直しは路線の継続的な運行に必要な取り組みと考える。運行見直しに当たっては、現在上伊那地域別部会で検討中の品質保証に照らして通学利用者が不便なく利用できるようにしてください。	通学利用者の利用状況を踏まえ検討します。
③④記載方法の修正について	④の記載内容は③の記載内容ではないか	③④の記載内容を整理し修正します。
⑥今後の改善点について	⑥事業の今後の改善点に協議事項（５）の事業の今後の改善点は記載しないのか。	（５）事業の今後の改善点を整理し修正します。
訂正	①長谷循環バスとあるが長谷線の誤りではないか。	修正します。

その他意見	内容	回答
長谷線について	目標未達の主因は少子化に伴う小中学生の利用減少と、それ以上に夏期における登山客をターゲットとした運行体制が整っていない。住民の生活維持と観光客の利便性向上が両立できないか。	運行事業者と利用状況を検証し運行ダイヤを検討します。
藤沢線について	慢性的なドライバー不足の中で、利用実績がない便を見直し経営の効率化と人員配置の適正化が必要ではないか。	運行事業者と利用状況を検証し運行ダイヤを検討します。
市街地循環バスについて	交通集中による右左折での渋滞が恒常的にあり、定時性の喪失や、ドライバーの休憩時間の消失がある。週末特有の交通量増加に対応するダイヤの改正や公共交通優先システム（PTPS）の導入、ルートの一部見直しが必要ではないか。	運行事業者と利用状況を検証し運行ダイヤを検討します。
藤沢線、長谷線の夏期と冬期のダイヤについて	夏期と冬期で異なっている最終便の運行時間を通年で同一時間に固定する。	部活動の終了時間に合わせたダイヤのため学校、地域の意見をまとめ検討します。

伊那市地域公共交通会議・協議会事務局
 （伊那市 企画部 企画政策課 企画政策係内）
 担 当：有賀 慎、田中 元喜
 電 話：0265-78-4111（内線 2145）
 F A X：0265-74-1250
 e-mail：kij@inacity.jp